

Press Release

2014年5月13日

メドピア株式会社

「診療報酬改定の影響（職場の収入）」について 28%が収入に変化はないと考えている

医師約66,000人以上が参加する医師専用サイト「MedPeer」（メドピア、<https://medpeer.jp/>）を運営するメドピア株式会社<東京都渋谷区、代表 石見陽（医師）>は、会員医師を対象に「診療報酬改定の影響（職場の収入）」についてのアンケートを実施し、以下のとおり、結果を取りまとめました。

医師専門サイトMedPeer調査結果：「診療報酬改定の影響（職場の収入）」について（総回答：3,286人）

順位	回答	回答数（人）	占有率
1	わからない	1,409	42.9%
2	収入に変化はない	921	28.0%
3	収入が減る	847	25.8%
4	収入が増える	89	2.7%
5	その他	20	0.6%
-	合計	3,286	100.0%

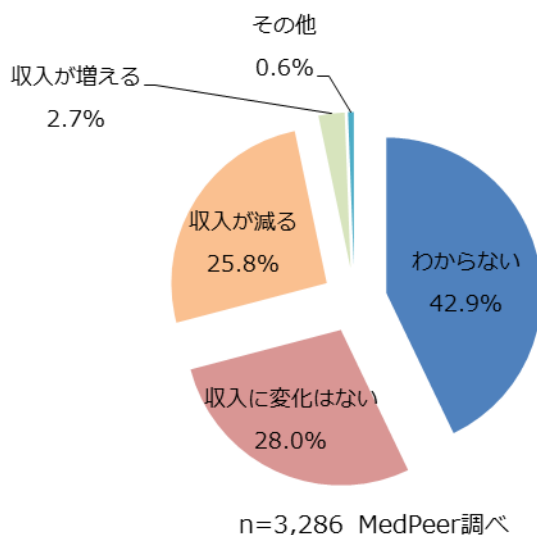
サマリー：

- 医師専門サイトMedPeer（メドピア）に登録する医師（66,000人以上）を対象に「診療報酬改定の影響（職場の収入）」について質問をしたところ、**3,286**件の回答が寄せられた。
- まだ改訂されてから日が浅いので、「わからない」という回答が、42.9%と最も多い。「1年間やってみないとわからない」といったコメントが目立つ。また、「経営に関わっていないのでわからない」といった声もあった。
- 「収入に変化はない」は28.0%。「総合するとプラスマイナス0くらい」「総合病院ではすぐには影響がない」といったコメントがみられた。
- 「収入が減る」は25.8%。「在宅医療には大ダメージ」「高齢者が受診を控える」「人件費が上昇する分を

「転嫁できない」という声がある。

- 全体では、「消費税増税の影響」に言及するコメントもあり、「消費税分の出費が地味に影響する」といった意見もみられた。

▼総合結果



回答コメント（回答一部を抜粋）

「わからない」 1,409件

- ・開業医です。主治医機能には反対で、算定するつもりはありません。患者数が減らない限り、大きな変化はないと見込んでいます。(40代、一般内科)
- ・院内調剤の開業医ですので、今回の改定では目立った変化は少ないように思います。ですが、細かな改定の影響が分かるのは半年後でしょう。(50代、一般内科)
- ・対象患者や疾患を十分に院内で検討はしていますが、実際の影響が出るまでにはもう少し時間がかかるものと思われます。(30代、一般内科)
- ・大学病院です。いろんな調整が入ってあまり変化しないような気がします。(40代、脳神経外科)
- ・経営サイドではないので、わかりません。消費税で支出が増えることは間違いないので、「変化なし」だと実質マイナス。(40代、一般外科)
- ・今回は病院を中心に色々と締め付けが厳しい改定のように思いますが、複雑すぎてプラスになるのかマイナスになるのか解りません。(50代、皮膚科)
- ・70歳の2割負担で、少しその年代の患者さんが減るのではないかと思います。(50代、皮膚科)
- ・診療報酬の改定より消費税増税の心理的影響の方が大きいような気がします。(50代、一般内科)
- ・中規模急性期病院ですが、方向転換を迫られています。上の思惑通りに進むかどうかはわかりません。(30代、一般外科)
- ・再診料は増えるが、救急はひきしめがあります。よくて横ばいかと。(40代、健診・予防医学)

「収入に変化はない」 921件

- ・回復期病棟と一般病棟がある病院に勤務しています。増と減は半々で相殺されるようです。(50代、一般内科)
- ・やり方によって増減両方があるので、今の所トントンではないかと感じています。(50代、呼吸器外科)
- ・おそらく減る可能性が高いと思いますが勤務医なので収入は変わりません。(50代、循環器内科)
- ・市中の400床以上の病院です。点数がとれる基準に合わせて努力すれば増える可能性もあると思います。全体としてはあまり変わらないのではと考えています。個人の収入には関係ありませんが・・・(40代、消化器内科)
- ・市中の500床規模の救命センターですが、試算では大きく変化するところはないようです。(40代、救急医療科)
- ・あまり変わりそうにないが、点数の変動が他病院(大きい病院)の診療に影響を及ぼし、そのとぼっちりが来ることも考えられる。(60代、小児科)
- ・外来数は少なく、慢性期の高齢者を対象とした入院が多いので、特に影響はありません。(50代、一般内科)
- ・一部点数が上がったものもあるが、該当基準が厳しくなったものもあり、差し引き「0」。(60代、脳神経外科)
- ・開業医の耳鼻咽喉科ではあまり影響ないものであったと理解しています。(40代、耳鼻咽喉科)
- ・単科精神科病院です、今回の診療報酬改定では当院の機能としては良くも悪くも大きな影響はなく収入に変化はないと考えています。(60代、精神科)
- ・多少の変化は診療内容の手直しで吸収できるので、あまり影響はないと思う。(60代、一般内科)

「収入が減る」 847件

- ・市中急性期病院170床ですが、施設基準が厳しくて加算がとれないかも知れません。(40代、循環器内科)
- ・院外処方の診療所です。在宅医療の点数が一部下がり、収入はやや減ると思います。(40代、泌尿器科)
- ・一時退院の基準が厳しくなったので、減ると思います。(50代、小児科)
- ・医院の診察関係は横ばいだが、訪問診療関連が大幅に下がった。(50代、眼科)
- ・4月にDPC参入したのですが、入院患者数は明らかに減りました。(40代、耳鼻咽喉科)
- ・ケア・ミックス病院だったのですが、一般病棟および手術室が4/1より閉鎖され回復期・療養のみとなりました。(30代、整形外科・スポーツ医学)
- ・患者一人あたりならびに年間総点数など色々とシミュレーションしましたが、患者数が同じであれば確実に点数・収入は減ります。(40代、腎臓内科・透析)
- ・高度専門医療機関に勤務しているが、増収が見込める状況にはないと考える。(40代、血液内科)
- ・都内で透析クリニックはもうやっていけません。(40代、腎臓内科・透析)
- ・病棟の看護基準が下がり、訪問診療の報酬も減りました。(40代、一般内科)
- ・85床の回復期リハ病院です。今回の改訂では多くは増えませんでした。現実的には人件費が上昇する分を転嫁できず、収入は減りそうです。(40代、リハビリテーション科)
- ・当院のような中規模亜急性期病院では7対1ベッドを算定することは、事実上不可能となり、確実に減少すると考える。(70代、脳神経外科)
- ・281床、一般病院で療養病棟もあり。今後は急性期を減らし、地域包括ケア病棟を検討する必要があり、療養病棟をなくす可能性もある。(60代、一般内科)

「収入が増える」 89件

- ・当院は中規模の癌専門病院であり、対応次第では収入増やせそう(40代、呼吸器内科)

- ・収入は増えますが、消費税増税分を考えると利益は減ります。(40代、心療内科)
- ・重症患者を受け入れる急性期病院なので、増える可能性はあります。(30代、麻酔科)
- ・比較的専門性のある400床の病院なので幹部の人たちは増える、と喜んでいます。(50代、消化器内科)
- ・20歳未満の外来通院精神療法の点数が大幅に上がります。(40代、精神科)
- ・大学病院ですが、心臓外科・呼吸器外科・脳外科の手術が多いので、ICUの加算なども含めると、増収になると思います。(40代、循環器外科)

「その他」 20件

- ・病院幹部の試算では、収入が減るというより、消費税分の出費が地味に影響します。(60代、一般内科)
- ・診療報酬改定が収入にメリットをもたらした実感がない。(40代、一般内科)

※調査方法

□期間：

2014年4月8日（火）～ 2014年4月14日（月）

□有効回答：

3,286人（回答者はすべて、医師専門サイトMedPeerに会員登録をする医師）

□設問：

医師専用サイト MedPeer内の「ポスティング調査」コーナーにおいて、MedPeer事務局（運営：メドピア株式会社）より、以下の質問を投げかけました。

調査フォーム（設問文 抜粋）

MedPeer（メドピア）事務局からの質問です。

いつでも好きなところで自由に受けられる医療から「必要なときに適切な医療を適切な場所で最小の費用で受ける」医療に転換させていくための政策誘導が、2014年度の診療報酬改定に反映されました。

機能分化の促進により、大病院では一般外来の縮小が促され、診療所や中小病院では主治医機能の評価が新設されました。7対1病床は絞り込みが行われ、ICU、HCUなどは評価内容が見直されました。在宅医療に対してもさまざまな評価が加わりました。

厚生労働省資料

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000038855.html>

そこで質問です。

2014年度および今後の診療報酬改定は、皆さまがお勤めの施設にとって、より多くの収入をもたらす施策でしょうか。あるいは収入は減り、職場は縮小していくとお考えですか。選択肢より、ご選択ください。

なお、コメント欄には、「お勤めの施設規模（病床数や大学/市中病院など）」と、「選択肢を選んだ理由」をご記載ください。

-
1. 収入が増える
 2. 収入が減る
 3. 収入に変化はない
 4. わからない
 5. その他

【本件に関するお問い合わせ先】

メドピア株式会社 管理部 TEL : 03-6805-0345 / e-Mail : info@medpeer.co.jp

【記事掲載に際してのお願い】

- ・「医師専用サイト MedPeer 調べ」、であることの明記をお願い致します。
- ・web 上での引用に際しましては、<https://medpeer.jp> へのリンクをお願い致します。

■ MedPeer (メドピア) とは - 2014年4月末日時点 -

MedPeer は、メドピア株式会社が運営する、医師専用のインターネットサイトです (URL: <https://medpeer.jp/>)。会員医師同士による情報共有サービス「薬剤評価掲示板」や、特定疾患治療に関するエキスパート医師による情報提供「Meet the Experts (MTE)」、有名臨床指定病院の所属医師参加のオンライン症例検討会「インタラクティブ・ケース・カンファレンス」などを MedPeer 上に設け、“臨床の決め手がみつかるサイト”として、多くの医師に利用されています。現在の会員は 66,000 人以上で、日本の医師の約 4 人に 1 人が利用するサービスです。また、「薬剤評価掲示板」では、約 2,000 の医療用医薬品に対して、30 万件以上の医師会員による処方実感、クチコミ評価が投稿されています。

以上